

# あしたば

発行所 富士見地区社会福祉協議会  
 事務局 平塚市中里 42-13  
 電話 0463-33-9066 (大町会長宅)  
 編集 支援事業部

この「あしたば」は、高齢で  
 独居の方。在宅介護を要する  
 方とその介護者。90 歳以上  
 の方に、5 月、9 月、1 月  
 発行します。

五月  
 皐月



かしわもち

## — 年度始めの気候不順 —

今年の春はカナダ・バンクーバー冬季オリンピックで始まりましたが、日本のメダル獲得数が少なく残念に思いながら三月に入った。拙宅では毎冬正月を前後にして、ひよどり（以後ヒヨ）の番（つがい）が赤い万両の実を啄（ついで）みに飛来して二、三十鉢の実が無くなる迄食べ尽くす。その頃、箱の下部の少し痛んだ蜜柑を平に切り鉢皿に載せ二個所に置くと、目白の番（つがい）も飛来し代わる代わる啄んでいるのを眺めながらオリンピックを見て居た。何組かの目白とヒヨが交互に啄み多少の間を経て飛んで来る。ヒヨが数倍大きいので食べ尽くすかと思うが目白の出番を図るが如く交互に突付き去ってゆく。毎年梅の花が終わり桜咲く前の草木が芽吹き始め、餌が採り易くなる頃ぴたっと姿を消す。だが、ヒヨだけが桜満開頃再来し、餌をねだる如くキーンキーンと鳴く始末。仕方なく蜜柑を与え四月半ばを過ぎた。

今年は気候が不順で気温の低い日が続き、すぐ 1 日限りの初夏の陽気となる、その連続で自然の営みの変化に鳥達も困っているようだ。人間も十分に気を付けて暖かくなる迄頑張りましょう。

もう蜜柑はない。



富士見地区社協会長 大町 功

☆みのり会給食会（おひとりぐらしの方を対象）：

5 月 5 日（水）、6 月 2 日（水） } 午前 11 時 30 分より富士見公民館  
 7 月 7 日（水） } 1 階和室

☆ 交流ふれあいサロン：9 月 1 日（水）午前 10 時～  
 富士見公民館



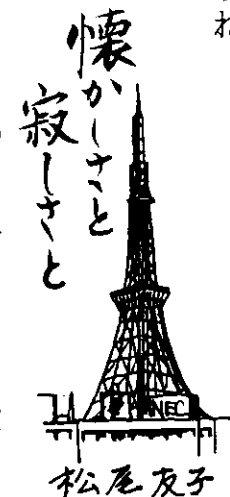
春です。桜です。お花見です。今年も「サクラ、エクस्प्रेस」は北上中。満開の桜の下での宴を楽しみましたか。今年は気温のせいでしょうか。長く楽しめそう。国花でもある桜は私達の誇りです。開花が早いと夏の気温も高く、作物は豊作と言われています。日本神話によると「木花開耶姫」は、桜を人格化して、遊宴の杯に桜が落ちると吉兆のあかしとした。」とあります。今は日本だけでなく、世界中の人々が楽しんでいます。市内でもあちらこちらに桜の名所があります。とりわけ湘南平の桜は天下一品と思つ



サクラエクस्प्रेस

上野静子

ています。ふもとからの桜のトンネルは見事です。総合公園もいいですね。先日、孫と桜の花の下を通った時、散り始めた花びらを夢中で追いかけ、手にした時のうれしそうな顔。やっぱり桜は、人を優越にする力を持つている様です。この便りが皆さんの手元に届く頃、桜はどのあたりでしょうね。



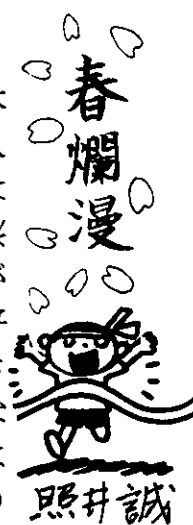
懐かしさと寂しさと  
 松尾友子

「隅田川お花見の会」に今年も出かけましたが、大勢の人々のカメラは、満開の桜よりも建設中のスカイツリーに向けられていました。帰りの電車から見た東京タワーは、半世紀も電波塔として観光名所として働いてきたのに：寂しそうでした。

「隅田川お花見の会」に今年も出かけましたが、大勢の人々のカメラは、満開の桜よりも建設中のスカイツリーに向けられていました。帰りの電車から見た東京タワーは、半世紀も電波塔として観光名所として働いてきたのに：寂しそうでした。

三丁目に暮らす人々の交流の中に、せつない所は温かさにあふれ、古き良き昭和の世界は懐かしく、言いようもなく感動して、泣けました。

ところで、画面には時折、建設中の東京タワーが登場している。日本一高かった建造物もすでに新たな電波塔、東京スカイツリーに越えられてしまいました。



日本人は桜が好きなので、新聞やテレビ等で目にする事が多い。植物の中で開花日を大々的に予想するのは桜だけと言っても過言ではないと思います。

大久保公園の桜は今年も見事な満開の花を咲かせ、あつという間に桜吹雪となつて散つた。この世の諸行無常を暗示的に伝えてくれる。今も昔も日本人の心に世の儂さを訴え、桜を想うと柄にもなく、つい感傷的な気持ちにとらわれるのは私だけでなく多勢いると思います。

勉強は大の苦手の私にとって運動会の短距離走は自分の得意分野を発揮出来る唯一の場でしたから、正に水を得た魚のように澁刺としていました。五月の爽やかな風にのつて花弁がハラハラと舞う中をゴールテープを切る自分が一年に一度の優越感に浸る事が出来る瞬間でした。



たまたまつけたテレビに突然「トイレの神様」と出てきてビックリ。しかも歌うという。トイレという言葉を詩として一体どう歌うんだろうと身をのりだした。しかも若くて美しい植村花菜さんという女性がギターを抱えている。「小さい頃、何故か私はおば

あちやんと住んでいた。そのおばあちゃんはいつもこう言っていた。「トイレにはきれいなきれいな神様がいて、毎日お掃除をしなければならぬ」と。それで私はくなくもくる日もトイレをびかびかに磨いてべっぴんさんになるのを夢見ていた。大きくなって別々に暮らす年月を重ね、とうとう永遠のお別れの日を迎えてもおばあちゃんには慌てない。会いに来た孫に『早くお帰り』とピシツと言った。」

きつと教えたことが全て花開いていたからだだったんでしょね。

この女性はその姿から顔も心もべっぴんさんに見受けられ、おばあちゃんに対するあふれる感謝の気持ちと、おばあちゃんの生き方にとっても感動しました。

「平塚市地域包括支援センターの呼称が変わります！」

ス俣川 宏一

地域包括支援センターは、高齢者の皆様が「いつまでも住み慣れた地域で元気により快適に安心して」生活できるようにお手伝いさせていただく相談窓口として市内8ヶ所に設置されています。

平塚市内の高齢者の皆様により身近な相談窓口としてご理解を深めるため、平成22年度より、「平塚市高齢者よろず相談センター」を呼称として用いることとなりました。6月1日より、正式にこの呼称を使用いたします。富士見地区の皆様にとりましては、「平塚市高齢者よろず相談センターゆりのき」となります。

(※名称としての「地域包括支援センター」も継続して使用いたします。)

呼称変更に伴い、一段と地域の皆様に親しみを持っていただけよう努めていきます。今後とも引き続き、お気軽にご連絡、ご相談ください。

平塚市地域包括センター ゆりのき  
住所：平塚市立野町31-20 (平塚市栗原ホーム内)  
電話：0463-33-2334 \*開所は平日朝8時30分  
FAX：0463-35-6038 から午後5時です

でも知らん顔をしているので、やっぱり犬の方が可愛いと言つて友人にやな顔された。しばらく放つておいて友人とおしゃべりしていると膝のあたりになにか触った。見るとうさぎがそつとそばに来て私の膝に前足をかけていた。可愛い。今度はそつと手をのぼし、優しくなでてやると、しばらく大人しくじつとしていた。

こんな可愛いうさぎを食べる国もあるんだなと思つたとき、日本でイルカを食用として捕まえて殺していると告発したアメリカの映画を思い出した。

うさぎやイルカは牛や豚より見た目が可愛いから食用にするのに抵抗があるのかもしれないが、他国の食文化に感情論でいちやもんをつけるのはどうかと思つた。



片山美智子

先日、うさぎを飼っている友人宅へ遊びに行つた。うさぎは小さめの猫ほどの大きさ

で色は明るいグレー、十センチほどの耳をしていて可愛い顔をしている。抱かせて貰おうとしたが、飼い主以外には絶対に抱かれたいとの事、無理に抱こうとしたら大暴れして逃げていつた。名前を呼ん